

# 3学年通信

2025年(令和7年) 5月27日  
第3学年通信 No.3  
福山市立城東中学校  
第3学年主任 山下 祐子



## 一生懸命がかっこいい!

### たくさんのドラマ! 体育大会!

5月1日(木)に体育大会が実施されました。先日行われた体育大会。本番のグラウンドには、全力で走り、踊り、応援し合う姿がありました。今年の3年生は「一生懸命って、かっこいい!」を体現する学年でした。勝ちにこだわり、悔し涙を流した人。仲間の努力に心動かされ、自分の殻を破った人。裏方に回り、黙々と支えてくれた人。みんながそれぞれの場所で自分の役割を果たし、団の力を引き出しました。結果として勝てなくても、成長や達成感という「本物の成果」を得た人がたくさんいます。互いを励まし、時にはぶつかり合いながらも、3年生としてリーダーの背中を見せてくれました。この体育大会で学んだことは、これからの受験や卒業に向かう力になるはず。これからも、みんなと一緒に高め合っていきましょう!



### 道徳×情報モラル 「ある日の午後から」

先日の道徳では、学校での友達の態度に腹をたてた主人公ひかるが、学校でのいらいらをグループにSNSで書き込むことにより、いじめ問題に発展していくという教材を基に、スマホやSNSの使い方、自己の行動や発言に責任を持つことの必要性を学習しました。

《振り返りより》

自分の問題をグループに送るのはどうかと思うし、共感してもらいたかったら、本当に信頼できる友達にだけ相談した方がいい。

SNSに限らず、自分の発言と行動には責任を持つことが大事。

実際、体験した人にしか分からない怖さがあるって、この先高校生になって人の顔とかが拡散されて取り返しのつかない事になる前に気づくことができ良かった。

道徳を振り返って、SNSの使い方一つ一つの言葉に責任を持って送ることや、自分が悪いと思っていなくても、相手は傷ついているかもしれないということを考えなければいけないと思った。

道徳の授業で返信の仕方を考えていくうちに、スタンプ一つでも相手の受け取り方は人によって全く別の意味になることが分かって、難しいと思った。

我々は、自分や友達の個人情報や何の疑いもなく、SNS上に投稿することがある時代を生きています。

そのことが、仲間を傷つけたり、何らかの事件に巻き込まれる可能性があるということを見つめ、今回の学習が責任ある行動へとつながってくれることを願っています。

ご家庭でも今一度、スマートフォンやSNSの使い方について、話し合う機会にしてみてください。

### オープンスクール・学校説明会について

高等学校から、オープンスクールや学校説明会の案内が届いています。3学年生徒用 Google 共有ドライブにアップロードしています。

- 学校ごとに締切、申し込み方法が違います。
- 中学校へはオープンスクール参加申込書(ピンクの紙)を提出してください。
- 公立高等学校については、後日お知らせします。
- わからないことは、担任の先生に聞いてください。

### 保護者のみなさま

5月1日(木)の体育大会には、多くの保護者の方にご来校いただきありがとうございました。また、先日の参観日にもご参加いただき、ありがとうございました。体育大会に向けて3年生は、3月末から準備を始め、工夫し、アイデアを出し合い、練習を重ねてきました。当日は、全力で頑張っている様子や、応援し合う姿をご覧いただけたかと思います。最学年として、とても凛々しい姿を見ることができ、とてもうれしく思っています。また、5月31日(土)から、福山地区春季総合体育大会が始まります。運動部の3年生にとっては、最後の公式戦です。これまでの努力や頑張る姿が、各会場で発揮されることを願っています。

また、7月3日(木)には進路説明会を実施します。詳細につきましては、後日お知らせいたします。引き続き、よろしくお願いいたします。

### 【予定の変更】

前回の学年通信の予定から変更になっています。

### 期末試験

6月17日(火)~19日(木)

### 第2回 実力テスト

6月10日(火)

### 7月の予定

3日(木) 13:30~ 進路説明会  
14日(月)~17日(木) 三者懇談  
18日(金) 終業式

### 8月の予定

25日(月) 始業式・実力テスト  
26日(火) 実力テスト

## 6月の予定



行事予定		部活	給食
1日	春季地区総体(2日目)		
2月	教育実習開始(~20日まで)	○	○
3火	期末試験発表(2週間前)	○	○
4水		部休	○
5木		○	○
6金		○	○
7土	春季地区総体(3日目)		
8日	春季総体予備日		
9月		○	○
10火	実力テスト・期末試験1週間前		○
11水	尿検査二次		○
12木	生徒総会 耳鼻科検診		○
13金	漢字検定		○
14土	春季地区総体(水泳競技)		
15日			
16月	ALT		○
17火	期末試験1日目		×
18水	期末試験2日目		×
19木	期末試験3日目 一斉研修		×
20金		○	○
21土			
22日			
23月		○	○
24火	尿検査ブロック予備日	○	○
25水		○	○
26木	ALT	○	○
27金	視聴覚プレ研究大会	部休	弁当
28土			
29日			
30月	ALT	○	○

※研究授業があるクラスのみ、お弁当が必要になります。



## 【体育大会を終えて（生徒の感想）】

- 体育大会の練習では、圓満先生が言っていた「今日の最高ラインは明日の最低ライン」を意識して、毎日、全力で一発目から大きい声を出して、優勝を目指して頑張りました。
- 100m走で1度走ったときに2位で、迷惑をかけると思ったので、足の速い人にどうやったら足が速くなるのかを聞いて、毎日走ったり、家の前でストレッチしたり頑張ったけれど、本番でも2位で申し訳なかった分、集団演技の時に声をいつも以上に出したり、応援を頑張ったりしました。
- ダンスや声出しは、最初は恥ずかしさもあったけれど、周りのみんなも頑張っているし、「どうせなら最後、全力で頑張って楽しんで終わりたい！」と言う気持ちが強かったので、一生懸命頑張りました。
- 私は整理整頓を心がけました。バラバラにぬがれたシューズをきれいに揃えたり、使った部屋の電気を消し、鍵をしめたりして、表で活躍するよりかは、裏でサポートしたと思います
- 中盤頃の練習終わりに〇〇君が2年生に怒ってしまいました。怒るのはいいけれど、言葉遣いを考え、ほめるところはしっかりほめないとかやる気がなくなるから、そこはしっかりと考え、リーダーももうちょっと頑張らないといけないうちで改めて思うことができた。
- 体育大会を通じて、身についた力は、3つあります。1つ目は、あきらめない力です。普段勉強や、自分のやりたくないこと、嫌いなことをすくにあきらめてしまうけれど、あきらめない力がついたので、受験勉強もやりたくないことも、嫌いなこともあきらめずに頑張りたいと思います。2つ目は、教える力です。体育大会の練習で、1・2・3年生にダンス、ソーラン節を教える事によって、教える力が身についたと思います。この力は授業で「学び合い」をするときに、役立つと思います。3つ目は、考える力です。練習メニュー等を考えることによって、言葉の力がついたと思います。
- リハーサルは学年種目も総合も1位で最高でした。ですが、現実はその甘くなく、当日本番は休みでもたり、緊張でうまくいかなかったりと、結果は3位。でも積み上げてきたものは本物でした。この体育大会はチリツモがよくできた、体育大会でした。
- 団長として、反省点もあります。それは準備不足な部分です。あと少し考え、工夫したりみんなと話し合えば、タイムロス無くも、もっと練習内容を濃く増やせることができるのではないかと思います。そんななかでも、自分から動き、指示を出して、まとめてくれたリーダーや、その指示をしっかりと聞き、声をかけ合い、真剣に取り組んでくれた黄団には一緒に頑張れて嬉しかった気持ちと、感謝の気持ちでいっぱいです。
- 3年生になって、特にたくさんの人を動かす大変さや支えてくれる人たちの存在の大きさに気づかされました。
- この体育大会を通して、もっとクラスで仲を深めることができたらいいと思っています。人任せじゃなく自分からも行動していきたいです。



- この体育大会の期間で学んだことは、人を動かすことです。最初は自分でやろうとしすぎていて、リーダーがやる事が無くなっていました。団長会で、山下先生の話聞いてから、他の人に「これしてほしい！」と言えるようになって、団全体として行動がはやくなりました。
- 準備から当日まで、たくさんの努力と学年を越えた協力があって、クラスや自分の成長を実感することができました。これがなによりの収穫だと思います。
- リハーサルではぶっച്ചぎりのピリでどうしようともとも悩みました。しかし、かけ声や、バンドの種類、毎日、クラスのみんなをLINEやclassroomで声かけをして、朝練をしたり、昼休憩にみんな全員全脚の練習をしました。体育大会当日は、リハで4位だったのが、2位までいって、とても早かった黄団を倒して勝ったときには、本当に泣きそうになりました。
- 練習の時の声は、リーダーに負けないうちに出すように、喉を痛めたりしながらも出しました。体育大会当日も、応援の声や、ソーラン節などのダンスの声も、喉がどうなるうともかまわずに、全力で声を出し、結果的には応援優勝をとることができました。
- 私は最高の団長たちに恵まれました。体育大会で私は自分の限界は自分で越えることができると言うことがわかりました。応援の声の大きさも、バトンを渡すこともすべてがそうだと感じました。今後は、目標の場所を失って良くない方向に行く人もいでしょう。しかしその人々を巻き込んでSmall Stepでもいい目の前に目標を立てて、成し遂げていこうと思います。三年生の時期はまだまだあります。たくさん殻を破っていきましょうと思います。
- まずこの32Rになじめるのが不安で、「受け入れてくれるのかな」とか「体育大会で協力できるかな」と思っていました。けれど初めての学年種目の練習の日、私たちの全員全脚では皆がそれぞれ横の人に合わせるようになってあげたり、大きな声かけをして始まりから絶好調でした。1回目の学年で通したときは4位という結果で終えて、雰囲気も悪くなるのではないかなと思ったのですが、給食時には団長中心に並び順や対策を考えていてむしろみんなの活気があふれていました。

- トップバッターを務めた集団演技で、気持ちをみんなでフチ上げて全力をぶつけました。今までが一番良かったと思うし、出し切りました。最終的には結果では、負けてしまったけれど、気持ち的には青団は優勝しました！
- 順位にこだわらなかつたけれど、今までの練習とか、本番の応援を思い出すと、悔しすぎて涙を流しました。負けだけれど、体育大会で団は絶対にすごく成長したと思います。僕もみんなも、自分の殻をやぶって全力で取り組めた最高の体育大会だと思いました。
- 最初は全くダンスができなくてやばかったけれど、友達が居残りしてまで教えてくれ、そこからダンスのできないところを何度も繰り返してできるようになりました。
- 僕たちはどれに対してでも全力で頑張りました。しかし、優勝できませんでした。これだけ青団のみんなと頑張ってやってきたけど、結果が出ず悔しかったです。スピーチのときも話していたら自然と涙が出てきました。この体育大会でリーダーもやって、たくさん学ぶことができて良かったです。
- 団長たちが一生懸命大きな声を出したり、集団演技の隊形も団長が考える姿がとてもカッコいいと思いました。
- 青団の強みを見つけました。練習が終わってからリーダーが集まってミーティングをするときに、「自分も話に入ります。」「入る入る！」といったリーダー心を持つ仲間がたくさんいるということです。青団は活気とリーダー心とメリハリと団結力が強いです。
- この体育大会を通じて今まで引張ってもらっていた私たちが引張る側のリーダー学年になったというのがクラスで感じられたと思うので、今までの先輩たちを“全ての面で”超えていきたいと思われる最高のリーダー学年慣れるよう頑張ります。
- 人前で話すということ。指示を出すということ。すごく緊張して苦手だったのですが、今回の練習の中で回数を重ねたおかげで今では余裕です！そして指示を出したときに返事がないと不安になるという気持ちに改めて気づかされました。
- 青団には特徴があります。それは団全体が温かいということです。練習などで言い合うことはほぼなく、他人の意見をしっかりと聞き合うことができました。青団のみんながすごく大好きになりました。だからこそ、青団に1つも結果を残してあげられなかったのがすごく悔しいし、団長として責任を感じています。僕自身、すごく青団のみんなに影響をうけ、あんなにもおぼつかなく前に立っていたのが、自身をもって立てるようになりました。こんな風に高め合い、全員が全力で楽しみ、挑戦し成長できた青団を誇りに思います。

- 自分はダンスが得意ではないので覚えるのが難しく、めんどうくさいと感じていました。リーダーは、自分がダンスを覚えていないのに気づき、その場で丁寧に教えてくれました。そのリーダーの姿から、一生懸命なことが伝わり、そのときに自分も一生懸命に練習しようと思うことができました。覚えてからはダンスの楽しさを感じ、一生懸命から生まれる楽しさに気づくことができました。
- たまたま早く学校に来たら、団長、リーダーの人が黒板を使ってダンスの移動を考えていました。ここまでやる気があるのはすごいと思いました。
- 私がスウェーデンリレーに決まるとすごく不安でした。ですが、リハーサルが終わった後にクラスの子から「速いじゃん！」とほめてくれたおかげで自分に自信が持てました。
- みんなが全力で取り組んで、優勝すること、歴史を変えることができるとすごく嬉しかったです。優勝したからこそ、先頭をずっと走って、卒業式で感動できるようにクラスをつくっていきます。
- 結果も素晴らしいけれど、みんなで協力して過ごした時間の方がもっと大切だと感じています。お互いに応援し合ったり、小さな成功と一緒に喜んだりする瞬間が、今日を忘れられないものになりました。
- 体育大会本番では、全部の目標を達成したとき「努力は必ず結果に出る」本当にこれを今回の体育大会で学べたと思います。朝、毎日集まったり、赤団リーダーみんなで団長の頭を割ったり、これももちろん「努力」だけれど全部大好きな「思い出」です。
- 自分が考えた振り付けをみんなが踊ってくれるのはとても嬉しかったし、応援リーダーでは最初恥ずかしくて声が出なかったけれどみんなが頑張っているのに、自分だけ声を出さないのが一番恥ずかしいと思うようになってきて、最終的にはのどが痛くなるくらいたくさん声かけをしてきました。
- 34Rと21Rがいる赤団が大好きになりました。仲間がテントに帰って来た時には定番の「おつたー！」で迎えたりしてとにかくみんなが楽しくなるように盛り上げました。
- 最後の学年練習では、最下位という結果で、自分も焦っていたし、きっとみんなも同じ気持ちだったと思います。クラスの雰囲気は最悪で、でも結果を出すには練習するしかないで、給食を食べた後と体育大会の朝のほんの少しの時間で練習しました。そして本番、自分たちは1位になりました。そのとき自分はうれしすぎて泣きそうでした。みんなの思いが一つになったんだと思います。今までうまくいかなかったのがまるで1位で喜ぶためのドラマのように思います。そのとき僕は34Rでよかったと心の底から思いました。本当に体育大会を通じてみんなに感謝しないといけないと思いました。ありがとう赤団。